

国内四半期自転車生産・輸出入状況 (2019年7～9月)

はじめに

本稿は、我が国の自転車生産・輸出入の変化の模様を的確に把握するため、四半期毎の動きに焦点を当て、特に対前年同期との比較を主体として調査を行ったものである。但し、前年同期との比較を主体とするとはいうものの、自転車販売には季節性があり、その生産・輸出入も通常1～3月期に最も数量が多く、7～9月期は各四半期の中で数量が最も少ない年が多いという事を踏まえておく必要がある。四半期毎の変化を追跡する場合、この特性を考慮する必要もある。

2019年7～9月期の生産状況は、総生産台数・総生産金額は前年同期を上回り平均単価は下落した。また2019年7～9月期の輸入状況についても同様で、総輸入台数・総輸入金額は前年同期を上回り平均単価は下落している。

1. 我が国の自転車生産

1-1 総合的生産状況

経済産業省生産動態統計調査によると、2019年7～9月の我が国の完成自転車総生産台数は178,950台であり、前年同期と比較すると4.6%増加した。7～9月期は上述した通り生産数量の最も少ない四半期であり、その最小の生産数量期相互の比較ではあるものの、四半期毎総生産台数は対前年同期比減少が続いていたため注目される。これらの模様を、過去4四半期にまでさかのぼって示した表1-1-1及び表1-1-2に示す。

表1-1-1 我が国自転車総生産台数の動向

四半期	2018年10～12月	2019年1～3月	2019年4～6月	2019年7～9月
総生産台数(台)	226,543	256,264	195,967	178,950
前年同四半期	2017年10～12月	2018年1～3月	2018年4～6月	2018年7～9月
総生産台数(台)	240,905	257,826	205,787	171,099

出典：経済産業省生産動態統計調査（2017年2018年数値は改定値） 加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会
以下、生産統計数値は全て同様。

表1-1-2 我が国自転車総生産台数の前年同期比

四半期	2018年10～12月	2019年1～3月	2019年4～6月	2019年7～9月
実数比(台)	-14,362	-1,562	-9,820	7,851
前年同期比(%)	-6.0	-0.6	-4.8	4.6

前年同期比で減少が増加に転じた要因は消費税増税前の駆け込み需要によるものではないかと思われる。当協会は自転車国内販売動向調査を実施しているが、その2019年9月月報16ページには自転車小売店の販売動向の特徴が記されており、かなりの駆け込み需要があった事が示されている。興味深いと思われるので、以下に小売店の生の声を列挙する。

- ・スポーツ車で増税前の駆け込みがあり16万円ほどの高額商品が売れた。
- ・電動アシスト車の増税前の駆け込みがあり63万円ほどの高額車が売れた。

- ・消費税増税の為に買い替えのお客様がいた。
- ・増税前需要がこれだけ極端に出るとは思わなかった。今年最高の売上だった。
- ・増税前でとにかく忙しかった。
- ・消費税増税前の駆け込み需要が多かった。需要が少ないと予想していた為、在庫不足になってしまった。在庫管理が上手くいっていれば、もっと売れたはず。

続いて生産平均単価を見ると、2019年7～9月の完成自転車生産平均単価は62,721円となっており、前年同期の64,116円から2.2%下落した。対前年同期比の生産平均単価は2019年4～6月期まで3四半期連続で上昇していたものの、当該期においては逆に下落が示された。2019年7～9月は、前年同期との比較においては台数の伸びに金額の伸びが追いつかなかったようである。しかし、前年同期(2018年7～9月期)の平均単価は、その前後と比べるとわかる通り比較的高かったため、今回のこのような結果になったという点もあると思われる。これらの模様を同じく過去4四半期にまでさかのぼって示した表1-1-3及び表1-1-4に示す。

表1-1-3 我が国自転車生産平均単価の動向

四半期	2018年10～12月	2019年1～3月	2019年4～6月	2019年7～9月
平均単価(円)	64,604	65,357	63,765	62,721
前年同四半期	2017年10～12月	2018年1～3月	2018年4～6月	2018年7～9月
平均単価(円)	64,405	62,165	61,591	64,116

表1-1-4 我が国自転車生産平均単価の前年同期比

四半期	2018年10～12月	2019年1～3月	2019年4～6月	2019年7～9月
実数比(円)	199	3,193	2,174	-1,395
前年同期比%	0.3	5.1	3.5	-2.2

更に総生産金額について見てみると、2019年7～9月の完成自転車総生産金額は112億2,392万4千円で、前年同期と比較すると2.3%増加した。これらの模様をやはり過去4四半期にまでさかのぼって示した表1-1-5及び表1-1-6に示す。但し、生産平均単価が下落していることからわかる通り、2019年7～9月の金額の伸びは2.3%と、台数の伸び4.6%に追いついていない。

表1-1-5 我が国自転車総生産金額の動向

四半期	2018年10～12月	2019年1～3月	2019年4～6月	2019年7～9月
総生産金額(千円)	14,635,581	16,748,718	12,495,848	11,223,924
前年同四半期	2017年10～12月	2018年1～3月	2018年4～6月	2018年7～9月
総生産金額(千円)	15,515,585	16,027,649	12,674,611	10,970,182

表1-1-6 我が国自転車総生産金額の前年同期比

四半期	2018年10～12月	2019年1～3月	2019年4～6月	2019年7～9月
実数比(千円)	-880,004	721,069	-178,763	253,742
前年同期比%	-5.7	4.5	-1.4	2.3

1-2 車種別生産状況

以下に車種別の生産状況を見ていくが、経済産業省生産動態統計調査における自転車の車種区分は、「軽快車」「電動アシスト車」「その他」の三つである。2019年7～9月は前年同期に比較し、「軽快車」は台数・平均単価・金額とも増加・上昇、「電動アシスト車」は

台数・金額が増加したものの平均単価は下落、「その他」は台数・平均単価・金額とも減少・下落という各々異なった様相を示した。

1-2-1 「軽快車」の生産状況

まず、「軽快車」の生産状況を以下に示す。2019年7～9月には生産台数が前年同期に対し7.1%増加したことがわかる。但し、2019年4～6月の生産台数は35,990台と少なかったため、これが2019年7～9月に若干持ち越されたという点もあるのかもしれない。

表1-2-1-1 「軽快車」の生産台数の動向

四半期	2018年10～12月	2019年1～3月	2019年4～6月	2019年7～9月
生産台数(台)	76,115	78,625	35,990	37,994
前年同四半期	2017年10～12月	2018年1～3月	2018年4～6月	2018年7～9月
生産台数(台)	72,646	79,023	39,428	35,483

表1-2-1-2 「軽快車」の生産台数の前年同期比

四半期	2018年10～12月	2019年1～3月	2019年4～6月	2019年7～9月
実数比(台)	3,469	-398	-3,438	2,511
前年同期比%	4.8	-0.5	-8.7	7.1

続いて「軽快車」の生産平均単価を見ると、2019年7～9月の「軽快車」の生産平均単価は20,264円となっており、前年同期の18,265円から10.9%上昇した事がわかる。「軽快車」に限ってみると、金額の伸びが台数の伸びを上回っている。また、表1-2-1-3を横に見ていくと四半期毎に生産平均単価の大きな変動があることがわかる。「軽快車」の生産は、秋から冬にかけて比較的高価なものを生産し、春から夏にかけては比較的安価なものを生産するという特徴がある事を別稿「自転車統計要覧第51版に掲載された生産・輸出入統計から見る我が国自転車産業の姿」(www.jbpi.or.jp/archive_pdf/exp_yrn51_1.pdf)24ページ(5)で指摘したが、それがこの表にも表れている。

表1-2-1-3 「軽快車」の生産平均単価の動向

四半期	2018年10～12月	2019年1～3月	2019年4～6月	2019年7～9月
平均単価(円)	31,406	31,656	14,729	20,264
前年同四半期	2017年10～12月	2018年1～3月	2018年4～6月	2018年7～9月
平均単価(円)	31,435	31,980	14,505	18,265

表1-2-1-4 「軽快車」の生産平均単価の前年同期比

四半期	2018年10～12月	2019年1～3月	2019年4～6月	2019年7～9月
実数比(円)	-29	-324	223	2,000
前年同期比%	-0.1	-1.0	1.5	10.9

更に生産金額について見てみると、2019年7～9月の「軽快車」の生産金額は7億6,992万6千円で前年同期と比較すると18.8%と大きく増加した事が示されている。これらの事から、2019年7～9月の「軽快車」は台数・平均単価・金額とも前年同期を上回ったことになる。また2018年7～9月の2018年4～6月に対する上昇幅より、2019年7～9月の2019年4～6月に対する上昇幅のほうが大きいことも見て取れる。

表1-2-1-5 「軽快車」の生産金額の動向

四半期	2018年10～12月	2019年1～3月	2019年4～6月	2019年7～9月
生産金額(千円)	2,390,458	2,488,955	530,085	769,926
前年同四半期	2017年10～12月	2018年1～3月	2018年4～6月	2018年7～9月
生産金額(千円)	2,283,599	2,527,145	571,915	648,092

表 1-2-1-6 「軽快車」の生産金額の前年同期比

四半期	2018年10~12月	2019年1~3月	2019年4~6月	2019年7~9月
実数比(千円)	106,859	-38,190	-41,830	121,834
前年同期比%	4.7	-1.5	-7.3	18.8

1-2-2 「電動アシスト車」の生産状況

「電動アシスト車」の生産状況を以下に示す。まず生産台数は、2019年7~9月にはそれ以前の対前年同期比減少傾向から一転し5.2%増加したことがわかる。7~9月期は季節的要因により1~3月期、4~6月期より減少するが、その落ち込みは2018年に比較し2019年は小さかったこともわかる。

表 1-2-2-1 「電動アシスト車」の生産台数の動向

四半期	2018年10~12月	2019年1~3月	2019年4~6月	2019年7~9月
生産台数(台)	131,437	158,472	136,308	122,408
前年同四半期	2017年10~12月	2018年1~3月	2018年4~6月	2018年7~9月
生産台数(台)	148,233	161,463	144,054	116,371

表 1-2-2-2 「電動アシスト車」の生産台数の前年同期比

四半期	2018年10~12月	2019年1~3月	2019年4~6月	2019年7~9月
実数比(台)	-16,796	-2,991	-7,746	6,037
前年同期比%	-11.3	-1.9	-5.4	5.2

続いて生産平均単価を見ると、2019年7~9月の「電動アシスト車」の生産平均単価は82,032円となっており、前年同期の84,863円から3.3%下落した事がわかる。2019年7~9月は前年同期に比べ台数の伸びに金額の伸びが追い付かなかった。この事が2019年7~9月の全車種の生産平均単価を押し下げた大きな要因である。但し2018年7~9月の84,863円という平均単価はかなり高め、2018年1~3月、2018年4~6月及び2019年4~6月を上回っていたことも指摘しておかなくてはならない。

表 1-2-2-3 「電動アシスト車」の生産平均単価の動向

四半期	2018年10~12月	2019年1~3月	2019年4~6月	2019年7~9月
平均単価(円)	90,118	87,450	84,131	82,032
前年同四半期	2017年10~12月	2018年1~3月	2018年4~6月	2018年7~9月
平均単価(円)	85,714	81,200	80,535	84,863

表 1-2-2-4 「電動アシスト車」の生産平均単価の前年同期比

四半期	2018年10~12月	2019年1~3月	2019年4~6月	2019年7~9月
実数比(円)	4,405	6,249	3,596	-2,831
前年同期比%	5.1	7.7	4.5	-3.3

更に生産金額について見てみると、2019年7~9月の「電動アシスト車」の生産金額は100億4,135万6千円で、前年同期と比較すると1.7%増加した事が示されている。2019年7~9月の2018年7~9月と比べた金額の伸びは、台数の増加に比べ僅かである。

表 1-2-2-5 「電動アシスト車」の生産金額の動向

四半期	2018年10~12月	2019年1~3月	2019年4~6月	2019年7~9月
生産金額(千円)	11,844,858	13,858,347	11,467,780	10,041,356
前年同四半期	2017年10~12月	2018年1~3月	2018年4~6月	2018年7~9月
生産金額(千円)	12,705,578	13,110,852	11,601,385	9,875,627

表 1-2-2-6 「電動アシスト車」の生産金額の前年同期比

四半期	2018年10~12月	2019年1~3月	2019年4~6月	2019年7~9月
実数比(千円)	-860,720	747,495	-133,605	165,729
前年同期比%	-6.8	5.7	-1.2	1.7

1-2-3 「その他」の生産状況

「その他」の生産状況を以下に示す。まず2019年7~9月の生産台数は、18,548台で対前年同期比3.6%減少した。他の車種が増加したにもかかわらず、僅かではあるが減少を示している。但し、2018年7~9月期の19,245台という生産台数は、2018年1~3月、2018年10~12月、2019年1~3月よりかかも多かったという点も見逃せない。

表 1-2-3-1 「その他」の生産台数の動向

四半期	2018年10~12月	2019年1~3月	2019年4~6月	2019年7~9月
生産台数(台)	18,991	19,167	23,669	18,548
前年同四半期	2017年10~12月	2018年1~3月	2018年4~6月	2018年7~9月
生産台数(台)	20,026	17,340	22,305	19,245

表 1-2-3-2 「その他」の生産台数の前年同期比

四半期	2018年10~12月	2019年1~3月	2019年4~6月	2019年7~9月
実数比(台)	-1,035	1,827	1,364	-697
前年同期比%	-5.2	10.5	6.1	-3.6

続いて生産平均単価を見ると、2019年7~9月の「その他」の生産平均単価は22,247円となっており、前年同期の23,199円から4.1%下落した事がわかる。そして生産平均単価は下落が続いている事もわかる。

表 1-2-3-3 「その他」の生産平均単価の動向

四半期	2018年10~12月	2019年1~3月	2019年4~6月	2019年7~9月
平均単価(円)	21,077	20,943	21,039	22,247
前年同四半期	2017年10~12月	2018年1~3月	2018年4~6月	2018年7~9月
平均単価(円)	26,286	22,471	22,475	23,199

表 1-2-3-4 「その他」の生産平均単価の前年同期比

四半期	2018年10~12月	2019年1~3月	2019年4~6月	2019年7~9月
実数比(円)	-5,210	-1,528	-1,436	-952
前年同期比%	-19.8	-6.8	-6.4	-4.1

更に生産金額について見てみると、2019年7~9月の「その他」の生産金額は4億1,264万2千円で、前年同期と比較すると7.6%減少した事が示されている。これらのことから、2019年7~9月の「その他」は台数・平均単価・金額とも前年同期を下回ったことになる。

表 1-2-3-5 「その他」の生産金額の動向

四半期	2018年10~12月	2019年1~3月	2019年4~6月	2019年7~9月
生産金額(千円)	400,265	401,416	497,983	412,642
前年同四半期	2017年10~12月	2018年1~3月	2018年4~6月	2018年7~9月
生産金額(千円)	526,408	389,652	501,311	446,463

表 1-2-3-6 「その他」の生産金額の前年同期比

四半期	2018年10~12月	2019年1~3月	2019年4~6月	2019年7~9月
実数比(千円)	-126,143	11,764	-3,328	-33,821
前年同期比%	-24.0	3.0	-0.7	-7.6

2. 我が国の自転車輸入

2-1 総合的輸入状況

まず、「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を除く全ての車種の自転車の我が国への輸入台数について示す。2019年7～9月の総輸入台数は、表2-1-1に示す通り1,375,387台であった。前年同期との比較を見ると、前四半期から増加に転じ2019年7～9月期には、表2-1-2に示す通り前年同期から7.8%増加した。また、冒頭で述べた季節性による変動は、2019年は2018年に比べ緩慢になっているようで、2019年1～3月のピークは2018年1～3月に比べ低く、逆にその後の減少過程では2019年は2018年より減少幅が少なくなっていることもわかる。2019年は2018年に比べ春需が弱く、それが後にずれたという見方もできるかもしれない。

表2-1-1 我が国自転車総輸入台数の動向

四半期	2018年10～12月	2019年1～3月	2019年4～6月	2019年7～9月
総輸入台数(台)	1,426,781	1,840,057	1,631,661	1,375,387
前年同四半期	2017年10～12月	2018年1～3月	2018年4～6月	2018年7～9月
総輸入台数(台)	1,498,503	1,941,518	1,537,644	1,276,139

出典：財務省貿易統計 加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会 以下、輸入統計数値は全て同様。

表2-1-2 我が国自転車総輸入台数の前年同期比

四半期	2018年10～12月	2019年1～3月	2019年4～6月	2019年7～9月
実数比(台)	-71,722	-101,461	94,017	99,248
前年同期比(%)	-4.8	-5.2	6.1	7.8

尚、参考までこの間のドル円為替レートを別表1に示しておく。

別表1 ドル円為替レート (税関長公示レート)

四半期別	1US\$=JPY
2017年10～12月	112.80
2018年1～3月	109.44
2018年4～6月	108.42
2018年7～9月	111.08
2018年10～12月	113.00
2019年1～3月	110.11
2019年4～6月	110.44
2019年7～9月	107.31

出典：公益財団法人日本関税協会 加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

続いて輸入平均CIF単価を見ると、2019年7～9月の完成自転車輸入平均CIF単価は11,849円となっており、前年同期の12,534円から5.5%下落した。こちらも全体の生産状況の場合と同様、2019年7～9月は2018年7～9月に比べ、台数の伸びに金額の伸びが追いつけなかったようである。また平均CIF単価は直近3四半期連続で下落している事もわかる。これらの模様を同じく過去4四半期にまでさかのぼって示した表2-1-3及び表2-1-4に示す。

表 2-1-3 我が国自転車輸入平均 CIF 単価の動向

四半期	2018年10~12月	2019年1~3月	2019年4~6月	2019年7~9月
平均 CIF 単価(円)	12,400	11,454	10,970	11,849
前年同四半期	2017年10~12月	2018年1~3月	2018年4~6月	2018年7~9月
平均 CIF 単価(円)	12,116	12,029	11,000	12,534

表 2-1-4 我が国自転車輸入平均 CIF 単価の前年同期比

四半期	2018年10~12月	2019年1~3月	2019年4~6月	2019年7~9月
実数比(円)	284	-575	-30	-685
前年同期比%	2.3	-4.8	-0.3	-5.5

更に総輸入金額について見てみると、2019年7~9月の完成自転車総輸入 CIF 金額は162億9,676万3千円となり前年同期比 1.9%増加した。これらの模様を過去4四半期にまでさかのぼって示した表2-1-5及び表2-1-6に示す。

対前年同期と比較した総台数・総金額は、ともにそれまでの減少傾向から一転し前四半期から増加を示している。生産状況のところで記載したとおり、これは弱かった春需、消費税増税前の駆け込み需要によるものではないかと思われる。但し上述のとおり、輸入平均単価は3四半期連続で下落しており、輸入車市場が全体として強含んでいるとは言えない状況である。

表 2-1-5 我が国自転車総輸入 CIF 金額の動向

四半期	2018年10~12月	2019年1~3月	2019年4~6月	2019年7~9月
総輸入 CIF 金額(千円)	17,692,395	21,075,532	17,900,030	16,296,763
前年同四半期	2017年10~12月	2018年1~3月	2018年4~6月	2018年7~9月
総輸入 CIF 金額(千円)	18,156,602	23,354,208	16,914,456	15,994,855

表 2-1-6 我が国自転車総輸入 CIF 金額の前年同期比

四半期	2018年10~12月	2019年1~3月	2019年4~6月	2019年7~9月
実数比(千円)	-464,207	-2,278,676	985,574	301,908
前年同期比%	-2.6	-9.8	5.8	1.9

2-2 車種別輸入状況

我が国の輸入における関税番号及び車種については次の別表2の通り分類されている。電動アシスト車は独立した輸入関税区分が立てられておらず、モーターサイクルの中に「駆動原動機として電動機を有するもの」が区分されており、輸入電動アシスト車はこの中に含まれているものと思われる。しかしこの区分には、電動オートバイも含まれているので注意が必要である。

別表2 輸入における車種区分 関税番号

関税番号／品名区分	車 種
8712.00100 マウンテンバイク	・ MTB(V ブレーキ・Disk ブレーキ装着車を含む) ・ クロスバイク
8712.00211 ミニサイクル	・ ミニサイクル ・ 小径折りたたみ車 ・ BMX
8712.00218 幼児車	・ 幼児車(12～16 吋) ・ 乗用玩具(12 吋二輪車) ・ 一輪車(12～16 吋)
8712.00219 子供車	・ 子供車(18～24 吋) ・ Jr.MTB(18～24 吋) ・ 一輪車(18～24 吋)
8712.00291 軽快車	・ 軽快車(外装変速機付は含まない) ・ シングル、内装変速機付スポーツ車
8712.00299 その他	・ スポーツ車 ・ 外装変速機付軽快車 ・ Jr.MTB(26 吋)
8711.60000 駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル	・ 電動オートバイ、電動アシスト自転車がこの区分の中に含まれる

出典：一般財団法人自転車産業振興協会

以下に車種別輸入状況を示していくが、車種区分が比較的多いため、この中から増加傾向の見られる「ミニサイクル」、底堅い需要のある「子供車」、重要と思われる「軽快車」及び「その他」、動向が注目される「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」に限って内訳をみてゆく。

2-2-1 「ミニサイクル」の輸入状況

「ミニサイクル」の輸入状況を表2-2-1-1及び表2-2-1-2に示す。2019年7～9月には輸入台数が前年同期比で28.6%と大幅に増加したことが示されている。表を横に見るとわかる通り、増加傾向が続いており、シェアサイクル向け自転車や小径車の輸入の増加が反映されているものと思われる。

表2-2-1-1 「ミニサイクル」の輸入台数の動向

四半期	2018年10～12月	2019年1～3月	2019年4～6月	2019年7～9月
輸入台数(台)	56,563	70,550	76,990	62,279
前年同四半期	2017年10～12月	2018年1～3月	2018年4～6月	2018年7～9月
輸入台数(台)	50,839	69,422	63,802	48,447

表2-2-1-2 「ミニサイクル」の輸入台数の前年同期比

四半期	2018年10～12月	2019年1～3月	2019年4～6月	2019年7～9月
実数比(台)	5,724	1,128	13,188	13,832
前年同期比(%)	11.3	1.6	20.7	28.6

続いて輸入平均CIF単価を見ると、2019年7～9月の「ミニサイクル」の輸入平均CIF単価は11,831円となっており、前年同期の12,591円から6.0%下落したが、それに先立つ3四半期は上昇していたことがわかる。輸入台数の変化に比べ輸入平均CIF単価の変化の度合いは小さいこともわかる。

表 2-2-1-3 「ミニサイクル」の輸入平均 CIF 単価の動向

四半期	2018年10~12月	2019年1~3月	2019年4~6月	2019年7~9月
平均 CIF 単価(円)	12,664	12,374	13,471	11,831
前年同四半期	2017年10~12月	2018年1~3月	2018年4~6月	2018年7~9月
平均 CIF 単価(円)	11,917	11,415	12,612	12,591

表 2-2-1-4 「ミニサイクル」の輸入平均 CIF 単価の前年同期比

四半期	2018年10~12月	2019年1~3月	2019年4~6月	2019年7~9月
実数比(円)	747	959	859	-760
前年同期比%	6.3	8.4	6.8	-6.0

更に輸入金額について見てみると、2019年7~9月の「ミニサイクル」の輸入 CIF 金額は7億3,681万8千円となり前年同期比20.8%増加した。やはり表を横に見るとわかる通り、金額も大幅な増加が続いている。但し2019年7~9月期は、台数の増加ほどには増加していない。

表 2-2-1-5 「ミニサイクル」の輸入 CIF 金額の動向

四半期	2018年10~12月	2019年1~3月	2019年4~6月	2019年7~9月
輸入 CIF 金額(千円)	716,308	872,998	1,037,158	736,818
前年同四半期	2017年10~12月	2018年1~3月	2018年4~6月	2018年7~9月
輸入 CIF 金額(千円)	605,832	792,437	804,663	610,016

表 2-2-1-6 「ミニサイクル」の輸入 CIF 金額の前年同期比

四半期	2018年10~12月	2019年1~3月	2019年4~6月	2019年7~9月
実数比(千円)	110,476	80,561	232,495	126,802
前年同期比%	18.2	10.2	28.9	20.8

2-2-2 「子供車」の輸入状況

「子供車」の輸入状況を以下に示す。2019年7~9月には、輸入台数が前年同期比13.6%と大きく増加したことが示されている。輸入台数は前四半期から前年同期比増加に転じている。少子化が進む中でも「子供車」は意外に底堅い需要があるように見受けられる。特に2019年4~6月、2019年7~9月はその傾向が出ていると思われる。順序が前後するが、「軽快車」の輸入台数を示した表2-2-3-1と見比べるとわかる通り、2018年4~6月期、2019年4~6月期及び2019年7~9月期は「子供車」の輸入台数が「軽快車」の輸入台数を上回っている。

表 2-2-2-1 「子供車」の輸入台数の動向

四半期	2018年10~12月	2019年1~3月	2019年4~6月	2019年7~9月
輸入台数(台)	317,216	359,298	449,883	357,722
前年同四半期	2017年10~12月	2018年1~3月	2018年4~6月	2018年7~9月
輸入台数(台)	374,073	362,414	419,781	314,904

表 2-2-2-2 「子供車」の輸入台数の前年同期比

四半期	2018年10~12月	2019年1~3月	2019年4~6月	2019年7~9月
実数比(台)	-56,857	-3,116	30,102	42,818
前年同期比(%)	-15.2	-0.9	7.2	13.6

続いて輸入平均 CIF 単価を見ると、2019年7~9月の「子供車」の輸入平均 CIF 単価は8,651円となっており、前年同期の9,477円から8.7%下落した。平均単価は前年同期比で

下落が続いている事がわかる。尚 2018 年 7～9 月の 9,477 円という輸入平均 CIF 単価は 2018 年 4～6 月から 2019 年 1～3 月までの一年間では最も高かったことから、2019 年 7～9 月の前年同期と比較した下落幅は大きくなっているという点も指摘できるかもしれない。但し表 2-2-3-3 に示した「軽快車」の輸入平均 CIF 単価と比較してみると、2018 年 4～6 月期、2018 年 7～9 月期、2019 年 4～6 月期及び 2019 年 7～9 月期は「子供車」の輸入平均 CIF 単価が「軽快車」のそれを上回っていることもわかる。

表 2-2-2-3 「子供車」の輸入平均 CIF 単価の動向

四半期	2018 年 10～12 月	2019 年 1～3 月	2019 年 4～6 月	2019 年 7～9 月
平均 CIF 単価(円)	9,294	9,370	9,004	8,651
前年同四半期	2017 年 10～12 月	2018 年 1～3 月	2018 年 4～6 月	2018 年 7～9 月
平均 CIF 単価(円)	9,591	9,523	9,046	9,477

表 2-2-2-4 「子供車」の輸入平均 CIF 単価の前年同期比

四半期	2018 年 10～12 月	2019 年 1～3 月	2019 年 4～6 月	2019 年 7～9 月
実数比(円)	-297	-153	-42	-826
前年同期比%	-3.1	-1.6	-0.5	-8.7

更に輸入金額について見てみると、2019 年 7～9 月の「子供車」の輸入 CIF 金額は 30 億 9,451 万 4 千円となり前年同期比 3.7%増加した。金額も前四半期から増加に転じている。

表 2-2-2-5 「子供車」の輸入 CIF 金額の動向

四半期	2018 年 10～12 月	2019 年 1～3 月	2019 年 4～6 月	2019 年 7～9 月
輸入 CIF 金額(千円)	2,948,363	3,366,519	4,050,847	3,094,514
前年同四半期	2017 年 10～12 月	2018 年 1～3 月	2018 年 4～6 月	2018 年 7～9 月
輸入 CIF 金額(千円)	3,587,865	3,451,333	3,797,290	2,984,337

表 2-2-2-6 「子供車」の輸入 CIF 金額の前年同期比

四半期	2018 年 10～12 月	2019 年 1～3 月	2019 年 4～6 月	2019 年 7～9 月
実数比(千円)	-639,502	-84,814	253,557	110,177
前年同期比%	-17.8	-2.5	6.7	3.7

これらの事から、保護者達は子供向け自転車の購入には前向きな事が窺え、付加価値の高い「子供車」が重要性を持ち始めてきている可能性がある。同時に成人の間では、「軽快車」の購入にはそれほど積極的ではなくなってきており、自転車を積極的に日常的に利用する人たちの間では「電動アシスト車」が選択されるようになってきている事も窺える。

2-2-3 「軽快車」の輸入状況

「軽快車」の輸入状況を以下に示す。2019 年 7～9 月には、輸入台数が前年同期比 0.6%増加したことが示されている。輸入台数は前四半期から前年同期比僅かな増加に転じているが勢いはそれほど感じられない。「軽快車」の場合、冒頭で述べた季節性は、2018 年と 2019 年とではあまり大きな変化は見られないが、2019 年の春需は 2018 年に比べ弱かったようである。その後 4 月以降遅れを取り戻すという事も見られないように見受けられる。

表 2-2-3-1 「軽快車」の輸入台数の動向

四半期	2018 年 10～12 月	2019 年 1～3 月	2019 年 4～6 月	2019 年 7～9 月
輸入台数(台)	439,812	573,283	373,720	339,589
前年同四半期	2017 年 10～12 月	2018 年 1～3 月	2018 年 4～6 月	2018 年 7～9 月
輸入台数(台)	443,107	611,071	372,431	337,447

表 2-2-3-2 「軽快車」の輸入台数の前年同期比

四半期	2018年10~12月	2019年1~3月	2019年4~6月	2019年7~9月
実数比(台)	-3,295	-37,788	1,289	2,142
前年同期比(%)	-0.7	-6.2	0.3	0.6

続いて輸入平均 CIF 単価を見ると、2019年7~9月の「軽快車」の輸入平均 CIF 単価は8,566円となっており、前年同期の8,744円から2.0%下落した。また2019年1~3月以降前年同期を3四半期連続で下回っている。

表 2-2-3-3 「軽快車」の輸入平均 CIF 単価の動向

四半期	2018年10~12月	2019年1~3月	2019年4~6月	2019年7~9月
平均 CIF 単価(円)	10,119	9,947	8,793	8,566
前年同四半期	2017年10~12月	2018年1~3月	2018年4~6月	2018年7~9月
平均 CIF 単価(円)	9,984	10,260	8,844	8,744

表 2-2-3-4 「軽快車」の輸入平均 CIF 単価の前年同期比

四半期	2018年10~12月	2019年1~3月	2019年4~6月	2019年7~9月
実数比(円)	135	-313	-51	-178
前年同期比%	1.4	-3.0	-0.6	-2.0

更に輸入金額について見てみると、2019年7~9月の「軽快車」の輸入 CIF 金額は29億908万5千円となり前年同期比1.4%減少した。金額もやはり3四半期連続で前年同期比減少している。

表 2-2-3-5 「軽快車」の輸入 CIF 金額の動向

四半期	2018年10~12月	2019年1~3月	2019年4~6月	2019年7~9月
輸入 CIF 金額(千円)	4,450,461	5,702,659	3,286,185	2,909,085
前年同四半期	2017年10~12月	2018年1~3月	2018年4~6月	2018年7~9月
輸入 CIF 金額(千円)	4,423,810	6,269,696	3,293,710	2,950,654

表 2-2-3-6 「軽快車」の輸入 CIF 金額の前年同期比

四半期	2018年10~12月	2019年1~3月	2019年4~6月	2019年7~9月
実数比(千円)	26,651	-567,037	-7,525	-41,569
前年同期比%	0.6	-9.0	-0.2	-1.4

2-2-4 「その他」の輸入状況

スポーツ車や外装変速機付軽快車が含まれる「その他」の輸入状況を以下に示す。2019年7~9月には、輸入台数が前年同期比9.0%増加したことが示されている。輸入台数は前四半期から前年同期比増加に転じている。「その他」の場合は、2019年の春需が弱く、それが2019年4月以降、後にずれているように見受けられる。

表 2-2-4-1 「その他」の輸入台数の動向

四半期	2018年10~12月	2019年1~3月	2019年4~6月	2019年7~9月
輸入台数(台)	450,740	710,604	562,632	482,381
前年同四半期	2017年10~12月	2018年1~3月	2018年4~6月	2018年7~9月
輸入台数(台)	461,538	752,513	510,554	442,353

表 2-2-4-2 「その他」の輸入台数の前年同期比

四半期	2018年10~12月	2019年1~3月	2019年4~6月	2019年7~9月
実数比(台)	-10,798	-41,909	52,078	40,028
前年同期比(%)	-2.3	-5.6	10.2	9.0

続いて輸入平均 CIF 単価を見ると、2019年7~9月の「その他」の輸入平均 CIF 単価は16,831円となっており、前年同期の17,947円から6.2%下落した。輸入平均 CIF 単価は3四半期連続で前年同期比下落しており、やはり勢いはそれほど感じられない。

表 2-2-4-3 「その他」の輸入平均 CIF 単価の動向

四半期	2018年10~12月	2019年1~3月	2019年4~6月	2019年7~9月
平均 CIF 単価(円)	17,520	13,702	14,089	16,831
前年同四半期	2017年10~12月	2018年1~3月	2018年4~6月	2018年7~9月
平均 CIF 単価(円)	16,831	14,867	14,503	17,947

表 2-2-4-4 「その他」の輸入平均 CIF 単価の前年同期比

四半期	2018年10~12月	2019年1~3月	2019年4~6月	2019年7~9月
実数比(円)	688	-1,165	-414	-1,116
前年同期比%	4.1	-7.8	-2.9	-6.2

更に輸入金額について見てみると、2019年7~9月の「その他」の輸入 CIF 金額は81億1,895万4千円となり前年同期比2.3%増加した。輸入 CIF 金額からも2019年1~3月の弱さが目立つ結果となっている。

表 2-2-4-5 「その他」の輸入 CIF 金額の動向

四半期	2018年10~12月	2019年1~3月	2019年4~6月	2019年7~9月
輸入 CIF 金額(千円)	7,896,840	9,736,863	7,926,923	8,118,954
前年同四半期	2017年10~12月	2018年1~3月	2018年4~6月	2018年7~9月
輸入 CIF 金額(千円)	7,768,369	11,187,614	7,404,455	7,938,859

表 2-2-4-6 「その他」の輸入 CIF 金額の前年同期比

四半期	2018年10~12月	2019年1~3月	2019年4~6月	2019年7~9月
実数比(千円)	128,471	-1,450,751	522,468	180,095
前年同期比%	1.7	-13.0	7.1	2.3

2-2-5 「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」の輸入状況

最後に参考まで「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」の輸入状況を示す。2019年7~9月には、輸入台数が前年同期比12.9%増加したことが示されている。輸入台数は継続的な増加が示されており、好調であると言ってよい状況である。また「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」は冒頭で述べた季節性が存在しないことも注目される。

表 2-2-5-1 「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」の輸入台数の動向

四半期	2018年10~12月	2019年1~3月	2019年4~6月	2019年7~9月
輸入台数(台)	87,312	83,382	84,074	98,639
前年同四半期	2017年10~12月	2018年1~3月	2018年4~6月	2018年7~9月
輸入台数(台)	67,610	68,868	77,992	87,386

表 2-2-5-2 「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」の
輸入台数の前年同期比

四半期	2018年10~12月	2019年1~3月	2019年4~6月	2019年7~9月
実数比(台)	19,702	14,514	6,082	11,253
前年同期比(%)	29.1	21.1	7.8	12.9

続いて輸入平均CIF単価を見ると、2019年7~9月の「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」の輸入平均CIF単価は36,743円となっており、前年同期の38,932円から5.6%下落した。輸入平均CIF単価は前四半期から前年同期比下落に転じている。輸入が増え、普及が進み、価格低落化が起き始めているのかもしれない。

表 2-2-5-3 「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」の
輸入平均CIF単価の動向

四半期	2018年10~12月	2019年1~3月	2019年4~6月	2019年7~9月
平均CIF単価(円)	38,689	39,397	34,283	36,743
前年同四半期	2017年10~12月	2018年1~3月	2018年4~6月	2018年7~9月
平均CIF単価(円)	34,170	38,404	39,598	38,932

表 2-2-5-4 「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」の
輸入平均CIF単価の前年同期比

四半期	2018年10~12月	2019年1~3月	2019年4~6月	2019年7~9月
実数比(円)	4,519	993	-5,314	-2,189
前年同期比%	13.2	2.6	-13.4	-5.6

更に輸入金額について見てみると、2019年7~9月の「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」の輸入CIF金額は36億2,428万9千円となり前年同期比6.5%増加した。前四半期を除き前年同期比増加しているが、その変動幅は非常に大きくなっている。

表 2-2-5-5 「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」の
輸入CIF金額の動向

四半期	2018年10~12月	2019年1~3月	2019年4~6月	2019年7~9月
輸入CIF金額(千円)	3,377,980	3,284,995	2,882,319	3,624,289
前年同四半期	2017年10~12月	2018年1~3月	2018年4~6月	2018年7~9月
輸入CIF金額(千円)	2,310,226	2,644,791	3,088,293	3,402,070

表 2-2-5-6 「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」の
輸入CIF金額の前年同期比

四半期	2018年10~12月	2019年1~3月	2019年4~6月	2019年7~9月
実数比(千円)	1,067,754	640,204	-205,974	222,219
前年同期比%	46.2	24.2	-6.7	6.5

3. 国内向け数量

我が国の完成自転車輸出はその殆ど全てが中古車の途上国向け輸出であるため、「生産台数」と「輸入台数」の合計が「国内向け数量」と考えられる。「国内向け数量」の前年同期比を見ると前四半期から増加に転じ、2019年7~9月には前年同期比7.4%増加したことが示されている。2019年春需の弱さ、その後ずれ、更に消費税増税前の駆け込み需要などが反映された結果になっていると思われる。

表 3 - 1 「国内向け数量」の動向

四半期	2018年10~12月	2019年1~3月	2019年4~6月	2019年7~9月
国内向け数量(台)	1,653,324	2,096,321	1,827,628	1,554,337
前年同四半期	2017年10~12月	2018年1~3月	2018年4~6月	2018年7~9月
国内向け数量(台)	1,739,408	2,199,344	1,743,431	1,447,238

出典：経済産業省生産動態統計調査（2017年2018年の数値は改定値）、
財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会
（生産には「電動アシスト車」を含み、輸入には「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を含まない）
表 3 - 2 も同様

表 3 - 2 「国内向け数量」の前年同期比

四半期	2018年10~12月	2019年1~3月	2019年4~6月	2019年7~9月
実数比(台)	-86,084	-103,023	84,197	107,099
前年同期比(%)	-4.9	-4.7	4.8	7.4

4. 我が国の自転車輸出

我が国の自転車輸出は途上国向けの中古自転車が殆どである。

表 4 - 1 - 1 は、全ての車種の自転車の我が国の輸出台数について、四半期毎に示したものである。2019年7~9月の総輸出台数は704,895台となり前年同期から0.8%増加した。これらの模様を過去4四半期にまでさかのぼって示した表 4 - 1 及び表 4 - 2 に示す。

表 4 - 1 我が国自転車総輸出台数の動向

四半期	2018年10~12月	2019年1~3月	2019年4~6月	2019年7~9月
総輸出台数(台)	834,374	729,774	808,971	704,895
前年同四半期	2017年10~12月	2018年1~3月	2018年4~6月	2018年7~9月
総輸出台数(台)	796,840	709,484	825,157	699,411

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会 以下、輸出統計数値は全て同様。

表 4 - 2 我が国自転車総輸出台数の前年同期比

四半期	2018年10~12月	2019年1~3月	2019年4~6月	2019年7~9月
実数比(台)	37,534	20,290	-16,186	5,484
前年同期比(%)	4.7	2.9	-2.0	0.8

続いて輸出平均 FOB 単価を見ると、2019年7~9月の完成自転車輸出平均 FOB 単価は1,755円となっており、前年同期の1,703円から3.0%上昇した。これらの模様を同じく過去4四半期にまでさかのぼって示した表 4 - 3 及び表 4 - 4 に示す。平均単価は増加傾向が続いている。平均 FOB 単価を見ればこれらの自転車輸出は中古自転車輸出である事は明らかである。

表 4 - 3 我が国自転車輸出平均 FOB 単価の動向

四半期	2018年10~12月	2019年1~3月	2019年4~6月	2019年7~9月
平均 FOB 単価(円)	1,722	1,729	1,720	1,755
前年同四半期	2017年10~12月	2018年1~3月	2018年4~6月	2018年7~9月
平均 FOB 単価(円)	1,628	1,664	1,644	1,703

表 4 - 4 我が国自転車輸出平均 FOB 単価の前年同期比

四半期	2018年10~12月	2019年1~3月	2019年4~6月	2019年7~9月
実数比(円)	93	65	77	52
前年同期比%	5.7	3.9	4.7	3.0

更に総輸出金額について見てみると、2019年7～9月の完成自転車総輸出 FOB 金額は12億3,689万円となり前年同期比比3.8%増加した。これらの模様をやはり過去4四半期にまでさかのぼって示した表4-5及び表4-6に示す。金額も増加傾向が続いている。

4-5 我が国自転車総輸出 FOB 金額の動向

四半期	2018年10～12月	2019年1～3月	2019年4～6月	2019年7～9月
総輸出 FOB 金額(千円)	1,436,424	1,262,032	1,391,595	1,236,890
前年同四半期	2017年10～12月	2018年1～3月	2018年4～6月	2018年7～9月
総輸出 FOB 金額(千円)	1,297,578	1,180,597	1,356,227	1,191,129

表4-6 我が国自転車総輸出 FOB 金額の前年同期比

四半期	2018年10～12月	2019年1～3月	2019年4～6月	2019年7～9月
実数比(千円)	138,846	81,435	35,368	45,761
前年同期比%	10.7	6.9	2.6	3.8

尚、輸出に関する分析では「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」は対象から除外している。

以 上